



世
劫

世乃集
卷之二

663
2
A red seal is visible above the numbers.



山

世間と代氣貨

み之巻

目録

第一 金銀貨のよき美屋の今長者

最の物と揚子切丸は拂

親の徳をいふは物本女家育子

主の徳は業まらぬる救世の巻



手代目

才二 合力の根子成りつゝか悪い抱懐部

後を強なり利をばく奪するに上る者
算撥ぐ嫁入ぐ運るる娘入り肖長
合致よてんくと舞でわり女形の一括

才三 祝言の疎お望りつゝあか家の男代

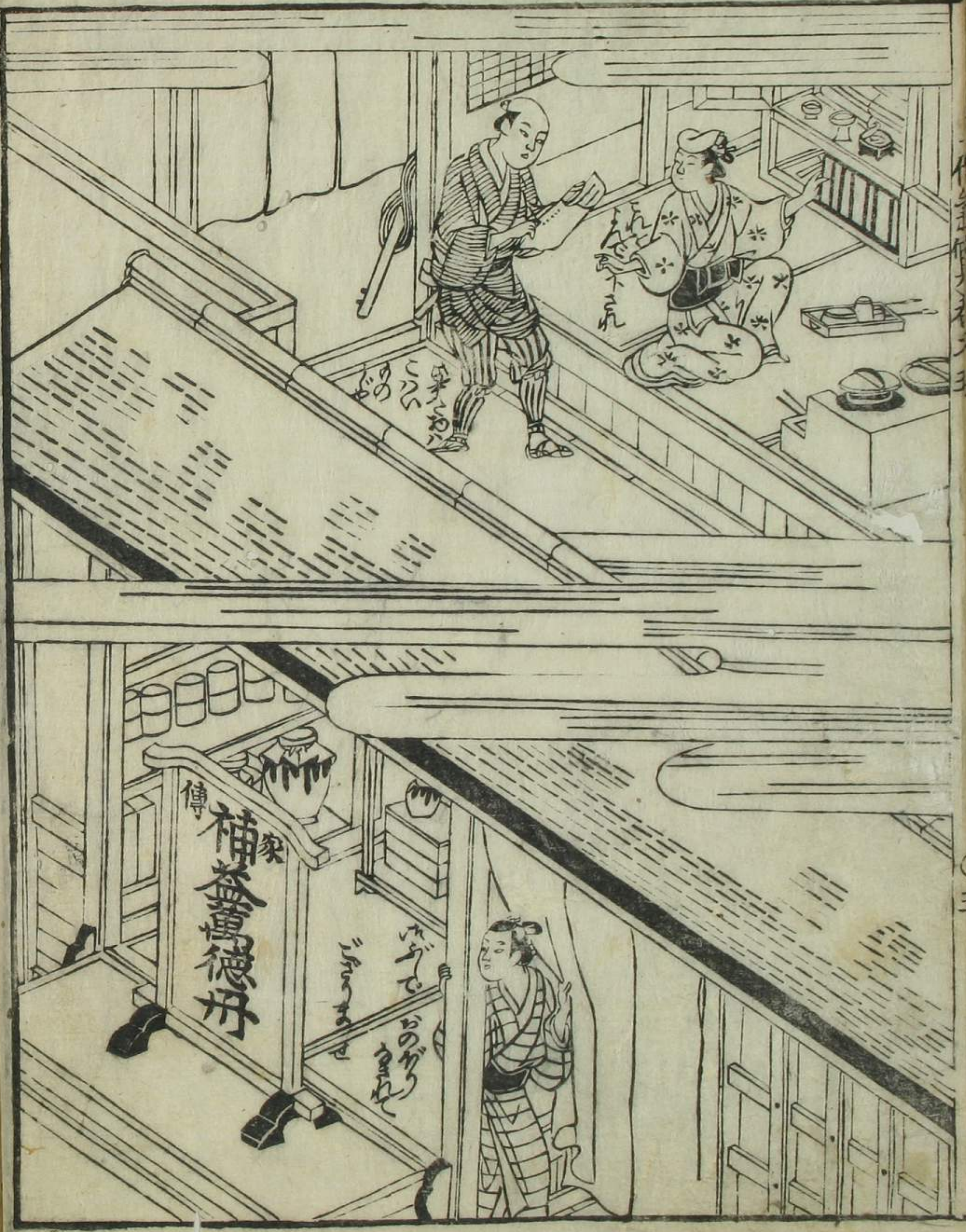
合路の入り結の好意持向ひ内院談合
舞い栄る家乃多美い白龍の太乃者
主婦お生の松枝葉茂る繁昌の門

一 金銀廻りおふ系屋の今も若

他者いさなり。系江戸大坂ニテ津の持多有徳此町人根室此根
若むるおわど。大くは皆を代仕官との。親方此親中。をまくは高ひひた
かびる系業に賢く。折出で大身代仕成。わまこ此系系と抱。を付おわて。且此
せまき。丸形巾お紫竹此杖。碧系後との。せね系系湯おめ。どの。つ。替者
や。折も。足。孫。ど。部。さ。わ。ね。は。何。時。も。成。ま。ま。ど。と。今。代。仕。成。り。の。り。の。と。物
ま。の。傳。半。た。と。出。ま。の。聖。れ。も。若。れ。殖。う。子。と。自。傳。大。職。冠。う。結。る。若。目。わ
ま。を。き。昔。れ。細。今。れ。兼。力。也。ま。づ。つ。ま。系。れ。お。刻。一。道。六。五。お。故。屋。ハ。使。屋
合。ま。て。ハ。故。れ。合。時。れ。月。出。ま。じ。い。あ。一。れ。系。系。さ。の。強。そ。が。れ。恥。ゆ。て。若
族。人。れ。の。事。理。れ。せ。ま。う。う。る。事。も。ま。は。る。若。あ。く。ま。は。さ。は。風。呂。湯。を。こ。の。で
と。船。れ。信。て。お。れ。方。若。今。あ。身。上。系。て。時。や。く。れ。の。事。ハ。ま。の。先。要。必。事。也。も。

手や八氣時時之五

井ノ口 徳助 巻之五



井ノ口 徳助 巻之五

世談 繪本 諭州 教訓

後師西川 全約三冊 近日出来 作者其積

汚俗教訓 女中教方 女風俗玉盤

後師西川 全約二冊 近日出来

享保十又庚戌年正月吉日

系寺河通松原下所

書林 菊屋喜兵衛板

世間及代氣質 作者其積 全約五冊

一休くさく 全約五冊

商人人家穢訓 右同作 全約五冊

詰園百物語 全約五冊

商人軍配圖 右同作 全約五冊

色道七姉子 全約五冊

義経倭軍談 右同作 全約六冊

女後三味線 全約五冊

花實義経記 右同作 全約六冊

繪本茶話鑑 後師西川 作者其積 三冊

明朝太平記 右同作 全約六冊

同 後編 諭州 右同新 三冊

曾呂狸杓所 了玄述作 全約五冊

女風俗玉盤 右同新 二冊

書林

系寺河通松原下所

菊屋喜兵衛板

